



華蔵寺御影堂 (吉良町 吉良上野介義央公の座像安置)

# 西尾更生保護

第73号  
 発行 者  
 西尾保護区保護司会  
 事務 局  
 西尾市寄住町下田22  
 西尾市役所福祉課内  
 ☎(0563)56-2111(代)  
 (題字 鳥居伸子)



## 地域の安全・安心の要

### 保護司の適任者確保

名古屋保護観察所長

弥 永 理 絵

コロナにより、私たちのかけがえのない日常は大きく変わり、更生保護活動も、従来と同様の形では実施が難しい場面が増えております。こうした状況下、保護司の皆様におかれては、様々な感染防止対策に御配慮されつつ、保護観察処遇や地域活動に多大な御尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。コロナとの戦いは、言わば持久戦の様相を呈していますが、皆様と御家族の健康が何よりも大切であり、引き続き、感染防止対策を徹底しながらの更生保護活動に、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、保護司の適任者確保が、更生保護の喫緊の最重要課題の一つとなっております。全国の保護司の数は、昨年、約四十年ぶりに四万七千人を下回り、愛知県においても、保護司充足率は低下傾向にあります。保護司は「地域の安全・安心の要」であり、県内で今後多くの保護司が定年での退任時期を迎える(西尾保護区においては、今後五年間で二十名)ことを考えると、保護司の適任者を計画的に確保していくことが極めて重要です。昨年度、愛知県保護司会連合会と当庁が共同で「保護司適任者確保愛知県推進本部」を設置し、方針に基づいて保護司適任者確保に向けた取組を進めていますが、改めて、全ての保護司の皆様と当庁職員が、保護司制度の意義や皆様が積み重ねてこられた実績を再確認し、課題等を共有して、一体となって取り組んでいくことが肝要と考えております。コロナ禍ではありますが、一人でも多くの方に保護司になっていただくとともに、やりがいを感じながら活動を継続していただけるよう、保護司候補者検討協議会の開催、地方公共団体を始め関係機関・団体に対する協力依頼、ケースの複数担当等、今できる取組は何か、皆様方と共に考え、実施してまいりたく、御理解、御協力をお願い申し上げます。



## 定期総会を終えて 本年度の 取り組みに向けて



西尾保護区保護司会  
会長  
鈴木 孫七

この度、杉浦会長の後を務めさせていただくことになりました。もとより浅学非才ではございますが、皆様方のご指導、ご協力を頂きながら職責を果たしてまいりたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中ですが、ワクチン接種も順次進んでおり、安心安全な社会が訪れてくれるのを願うばかりです。

新年度にあたりまして、会員の皆様方のご協力を頂きながら次の二つの項目に努力してまいりたいと思っております。

一つ目は、「西尾更生保護サポートセンター」の運営を充実させたいと思っております。「地域における保護司活動の拠点」となる訳でありますから「固定的な会場の確保」に努力すると共に、保護司相互間の情報交換や協議の場としての活用、保護観察対象者やそ

の家族の面談場所としての活用、更には更生保護関係団体や地域関係機関との連携の場所としての積極的な活用を図っていきたいと考えております。

二つ目は、保護観察対象者の再犯防止対策を充実させ、実践していくことが重要な使命だと思っております。刑法犯罪の中でも薬物依存者・高齢犯罪者の割合は高い水準であり、かつ再犯率の高い状況が続いております。この様な状況を踏まえ対象者が抱えている「生きづらさを生きてゆく」積極的なアプローチとより一層の適切な指導を会員の皆様と共に努力して参りたいと思っております。

本年度は私たち保護司の活動も制約を受けることが予想されますが、保護司会運営に尽力して参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



有馬副会長 鈴木会長 蜂須賀会計  
木村会計 米津副会長

## 令和三年度主な事業予定

- 4月 定期総会
- 5月 地域別定例研修①  
西尾幡豆合併十周年記念誌  
発行
- 6月 更女、BBS会合同研修会  
「西尾更生保護」73号発行
- 7月 中学校との連携活動  
施設見学研修
- 8月 西尾祇園祭街頭補導活動  
社会を明るくする運動・  
西尾市青少年健全育成市民  
大会(西尾市文化会館)
- 9月 子育てを考える集いの推進
- 10月 地域別定例研修②  
薬物乱用防止街頭活動
- 11月 協力雇用主会との情報交換会  
県外特別研修  
自主研修会
- 12月 愛知県更生保護大会  
更女・BBS会合同研修会  
名古屋保護観察所長講話  
「西尾更生保護」74号発行
- 1月 年間活動の反省
- 2月 地域別定例研修③  
定期総会準備  
(毎月、定例会を開催)
- 3月



## 研修部会

### 「コロナ禍における研修部会」

研修部の年間計画事業は、自主研修・地域別定例研修・施設見学・県外特別研修等でありましたが、他部会と同様に予定事業が円滑に実施できない現状です。

合同研修会で岡田博成先生による「傾聴」についてのご講演を頂く予定でしたが、また新庁舎になった西尾警察署の施設見学も計画しておりましたが、いずれもコロナ緊急事態宣言が延長となり中止を余儀なくされました。

研修部では、事業の再開を念頭に準備をしておりますが、定例会が中止で部会も実施できず部員相互の意思疎通を図るのに苦慮しております。

自主研修会担当と県外特別研修担当に分担されておりますが、担当の枠に拘ることなく全員で事業計画をしてゆく考えです。

そのためにも、コロナの早期終息が望まれるところでです。

(研修部会 小木曾和夫)

### 自主研修会担当

◎杉山 邦雄 ○杉浦 雅人

柴田 光江 稲垣たまえ

小木曾和夫

### 県外特別研修担当

◎都築 兼弘 ○神谷 知幸

深見 芳子 木村 照子



社明部会

令和三年度

「子育てを考える集い」の取組について



社明部会長  
犬塚 栄子

社明部会は、主に「社会を明るくする運動」関連事業を推進するために、「子育てを考える集い」と「西尾市青少年健全育成市民大会」を企画・実施しています。

社会を明るくする運動とは、私たちみんなが犯罪や非行の防止と立ち直りについて考え、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない地域社会を築こうという全国的な運動です。

その一環として、西尾保護区保護司会では、市内全幼稚園及び保育園を対象に、三年周期で「子育てを考える集い」を開催しています。

この「集い」は、近年少子化や核家族化により、家族の在り方が変化しつつある中、幼児期における「家庭教育の大切さ」に気づき、子どもたちの健やかな成長の一助

にしてほしいと願い、昭和五十年から継続して実施している行事であります。

しかしながら、この事業は、昨年度、本年度と、コロナ禍によって中止となりました。そのため、本年度は、「子育てを考える集い」の趣旨を再確認する機会として、社明部会において新たに啓発資料を作成し、市内全園に配布したいと考えております。来年度は、コロナ禍が収まり、こうした事業を予定通り開催したいと思っております。今後とも、関係各位におかれましては、「子育てを考える集い」等の活動に、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



子育てを考える集い グループ討議

中学校連携担当者

中学校	担当保護司
西尾	神谷 昇
鶴城	岩瀬 一
平坂	犬塚 栄子
寺津	岡田 光祥
福地	神谷 知幸
東部	小木曾和夫
一色	松井 仁志
吉良	太田五九郎
幡豆	山崎 正信

新任保護司紹介



吉良町  
小塚 義人



上永良町  
岡安 敏雄

(令和三年五月二十五日 就任)

退任保護司紹介



吉良町  
石川 康夫  
(在職六年)



和気町  
犬塚 忠雄  
(在職十六年)



徳次町  
鳥居 伸子  
(在職十七年)

在職期間は異なりますが、一緒に保護司会の仕事ができようれしかったです。退会されてもご助言をいただければ幸いです。

担当就任のご挨拶



名古屋保護観察所  
保護観察官  
鵜飼 良亜

初めに、西尾地区保護司会の皆様方へ、個人の改善更生のため、又は犯罪や非行のない社会をつくるために、常日頃から保護司活動へ勤しんでいただいていることに、強い敬意を覚えるとともに、改めて感謝の意を申し上げます。

新たに西尾地区担当となった鵜飼と申します。保護観察官として人間としても未熟ではありますが、保護観察を行う主体の一人として誠意を忘れずに保護司の皆様方と協働しながら、己の職分を全うしたいと思っております。

さて、昨今はコロナ禍により、誰も彼もが困惑しながら生活しております。皆様方におかれましては、感染症拡大防止の徹底について個別に工夫していただき、保護観察対象者への働きかけを継続していただいているところであります。この大変な時勢ではございますが、皆様方ご自身の健康と息災に配慮し、その上でのよりよい社会づくりを、切にお願い申し上げます。



## 犯罪予防部会

令和三年度  
西尾保護区協力雇用主会総会

昨今、新型コロナウイルスの感染者は一向に減少の気配が見えてきません。そんな中、昨年は中止のやむなきに至った定期総会でしたが、本年度は四月十五日市役所五階会議室において開催することができました。名古屋保護観察所統括保護観察官の太田様、西尾市健康福祉部長の築瀬様をはじめとした来賓のご臨席を賜り無事終えることができました。

冒頭、藤井会長は「昨年度はコロナ禍で主だった行事ができなかった。しかし念願だった雇用が一件あり、これからもこうした傾向が長続きしていくようにしたい。



藤井英治会長

そのためには緊密な連携と協力を願いました。お話しした「い」と挨拶されました。

また、新たに「石川ポンプ工業」と「入船興業」の二社の入会が報告され、会場にて紹介されました。来賓挨拶で太田統括保護観察官は「過去に事件を起こした人の再



犯率は他に比べ非常に高い。きつとした職に就いていない者も多く、それが再犯の原因の一つと考えられる。協力雇用主会による就労支援をお願いしたい」と述べられました。

鈴木保護司会長は「再犯者の多くが職に就いていないことを考えると私たち保護司も対象者に対して進んで職の斡旋をし、再犯防止に努めていかなければならない」と応えています。

私たち保護活動に携わる者として、これからも協力雇用主会との連携・協力、さらにその活用を考える時がきたと感じました。

(犯罪予防部会 清水 勝英)

## 研修部会

第一期地域別定例研修  
アセスメントに基づく  
保護観察の実施について

令和三年度初回の研修会は、名古屋保護観察所観察官の鶴飼良亜氏による講演形式で実施されました。

話題の中心は令和三年一月から導入されたアセスメントツール(CPF)の特徴やねらいについてです。この手法を導入することで、保護観察者の処遇方針がより適切に決定され、再犯防止に役立つメカニズムの解析に役立つという説明がありました。従来では見過ごしてきた保護観察者が持つ自らの犯罪や非行を抑制する強みに光を当て、日常生活の中でどの領域に



講演される鶴飼良亜 観察官

その強みが発揮できているのかを見抜く八領域のポイントの紹介もありました。

一方、再犯・再非行に走る統計的確率の高さまで評価することで保護観察者の犯罪や非行の背景にある要因(問題)を知り、改善更生をさせるために、保護観察官や担当保護司は何をどれほど、どう関わっていくかが見えてきます。受講した保護司は新しい手法に戸惑いは隠せませんが、新しい時代の動きに新たな発見をした保護司は少なくとも感じた感じました。

(研修部会 杉山 邦雄)

## 編集後記

○コロナ禍で制限された毎日ですが、季節は進み、梅雨明け間近のようです。○ご執筆いただいた皆様のお陰で本号を発行でき、編集委員一同感謝しております。ありがとうございます。○書棚の鎌田實著「いいかげんがいい」を再読みしました。無理しない、こだわりのすぎない、よくばらない、つっぱらない、頃合いに融通をきかせる、ほどほどに、「いいかげん」には、こんなすてきな意味が隠されています。こう考えると、何か不思議に心のゆとりがわいてきます。

(総務部編集委員会 外山 正志)